

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) －トリプルリターンズ－

日本円・コース (毎月分配型)  
豪ドル・コース (毎月分配型)  
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)  
米ドル・コース (毎月分配型)  
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型)	2011年9月22日～2026年9月7日
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	2013年5月31日～2026年9月7日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (日本円・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (豪ドル・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (ブラジ ル・リアル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (米ドル・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (通貨セレ クト・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

## 運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第144期 (決算日 2023年10月10日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第145期 (決算日 2023年11月7日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第146期 (決算日 2023年12月7日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第147期 (決算日 2024年1月9日)
	第148期 (決算日 2024年2月7日)
	第149期 (決算日 2024年3月7日)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)	第124期 (決算日 2023年10月10日)
	第125期 (決算日 2023年11月7日)
	第126期 (決算日 2023年12月7日)
	第127期 (決算日 2024年1月9日)
	第128期 (決算日 2024年2月7日)
	第129期 (決算日 2024年3月7日)

(作成対象期間 2023年9月8日～2024年3月7日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3834>  
<3835>  
<3836>  
<3837>  
<5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
120期末 (2021年10月7日)	6,281	35	△ 5.1	43,093	△ 3.7	—	98.1	322
121期末 (2021年11月8日)	6,467	35	3.5	46,421	7.7	—	98.6	332
122期末 (2021年12月7日)	6,380	35	△ 0.8	45,423	△ 2.2	—	99.2	328
123期末 (2022年1月7日)	6,735	35	6.1	46,490	2.3	—	99.5	347
124期末 (2022年2月7日)	6,556	35	△ 2.1	44,582	△ 4.1	—	97.4	339
125期末 (2022年3月7日)	6,580	35	0.9	42,926	△ 3.7	—	99.4	339
126期末 (2022年4月7日)	6,773	35	3.5	44,474	3.6	—	98.4	334
127期末 (2022年5月9日)	6,592	35	△ 2.2	40,950	△ 7.9	—	99.1	323
128期末 (2022年6月7日)	6,589	35	0.5	40,984	0.1	—	96.6	323
129期末 (2022年7月7日)	5,766	35	△ 12.0	38,272	△ 6.6	—	99.0	281
130期末 (2022年8月8日)	6,135	35	7.0	41,289	7.9	—	99.1	300
131期末 (2022年9月7日)	5,911	35	△ 3.1	38,977	△ 5.6	—	97.4	288
132期末 (2022年10月7日)	5,923	35	0.8	37,386	△ 4.1	—	97.6	286
133期末 (2022年11月7日)	6,078	35	3.2	37,671	0.8	—	99.3	294
134期末 (2022年12月7日)	6,293	35	4.1	39,430	4.7	—	97.4	303
135期末 (2023年1月10日)	6,386	35	2.0	38,982	△ 1.1	—	99.0	308
136期末 (2023年2月7日)	6,539	35	2.9	41,196	5.7	—	99.5	316
137期末 (2023年3月7日)	6,462	35	△ 0.6	40,623	△ 1.4	—	99.2	311
138期末 (2023年4月7日)	6,178	35	△ 3.9	41,240	1.5	—	99.8	297
139期末 (2023年5月8日)	6,067	35	△ 1.2	41,574	0.8	—	97.9	291
140期末 (2023年6月7日)	6,050	35	0.3	43,117	3.7	—	99.1	292
141期末 (2023年7月7日)	6,110	35	1.6	44,441	3.1	—	99.2	297
142期末 (2023年8月7日)	6,395	35	5.2	45,137	1.6	—	99.1	306
143期末 (2023年9月7日)	6,295	35	△ 1.0	45,067	△ 0.2	—	99.7	301
144期末 (2023年10月10日)	5,987	35	△ 4.3	43,800	△ 2.8	—	97.5	287
145期末 (2023年11月7日)	5,986	35	0.6	44,128	0.7	—	97.6	283
146期末 (2023年12月7日)	5,914	35	△ 0.6	46,045	4.3	—	98.9	261
147期末 (2024年1月9日)	6,150	35	4.6	48,254	4.8	—	97.5	270
148期末 (2024年2月7日)	6,168	35	0.9	50,214	4.1	—	98.2	263
149期末 (2024年3月7日)	6,263	35	2.1	51,799	3.2	—	97.5	264

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

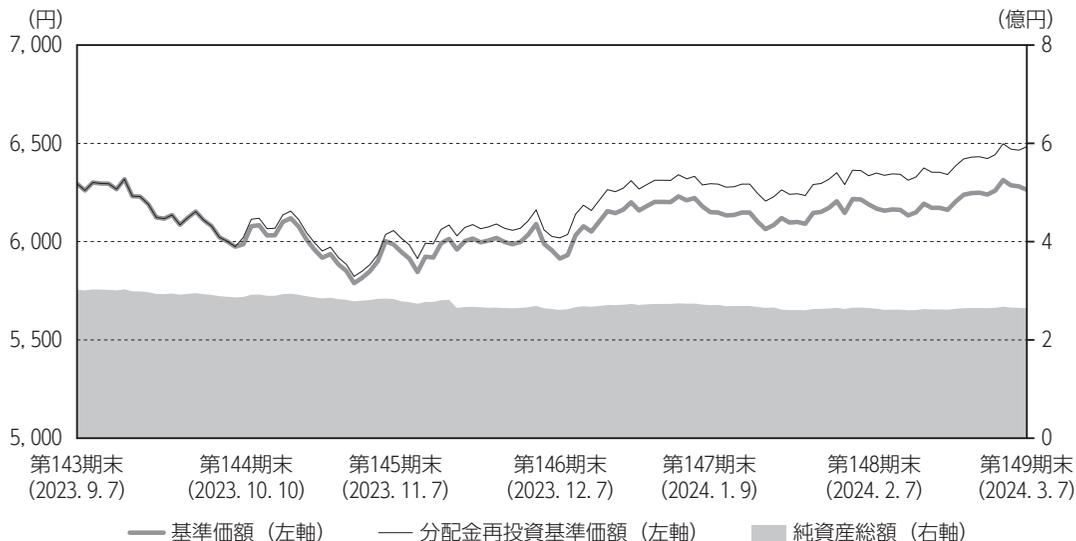
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第144期首：6,295円

第149期末：6,263円 (既払分配金210円)

騰落率：3.0% (分配金再投資ベース)

### 基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました (分配金再投資ベース)。「クローキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」については、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)：オージェンタム・トラスト  
クローキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	騰 落 率 %	騰 落 率 %		
第144期	(期首) 2023年 9月 7日	6,295	—	45,067	—	—	99.7
	9月末	6,153	△ 2.3	43,423	△ 3.6	—	99.8
	(期末) 2023年10月10日	6,022	△ 4.3	43,800	△ 2.8	—	97.5
第145期	(期首) 2023年10月10日	5,987	—	43,800	—	—	97.5
	10月末	5,815	△ 2.9	42,109	△ 3.9	—	98.3
	(期末) 2023年11月 7日	6,021	0.6	44,128	0.7	—	97.6
第146期	(期首) 2023年11月 7日	5,986	—	44,128	—	—	97.6
	11月末	5,998	0.2	46,043	4.3	—	98.3
	(期末) 2023年12月 7日	5,949	△ 0.6	46,045	4.3	—	98.9
第147期	(期首) 2023年12月 7日	5,914	—	46,045	—	—	98.9
	12月末	6,210	5.0	48,445	5.2	—	99.3
	(期末) 2024年 1月 9日	6,185	4.6	48,254	4.8	—	97.5
第148期	(期首) 2024年 1月 9日	6,150	—	48,254	—	—	97.5
	1月末	6,205	0.9	49,911	3.4	—	97.6
	(期末) 2024年 2月 7日	6,203	0.9	50,214	4.1	—	98.2
第149期	(期首) 2024年 2月 7日	6,168	—	50,214	—	—	98.2
	2月末	6,240	1.2	51,429	2.4	—	99.1
	(期末) 2024年 3月 7日	6,298	2.1	51,799	3.2	—	97.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の枠組みを継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF Fレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を5.25～5.50%に据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

引き続き、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### 当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

### クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS (世界産業分類基準) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

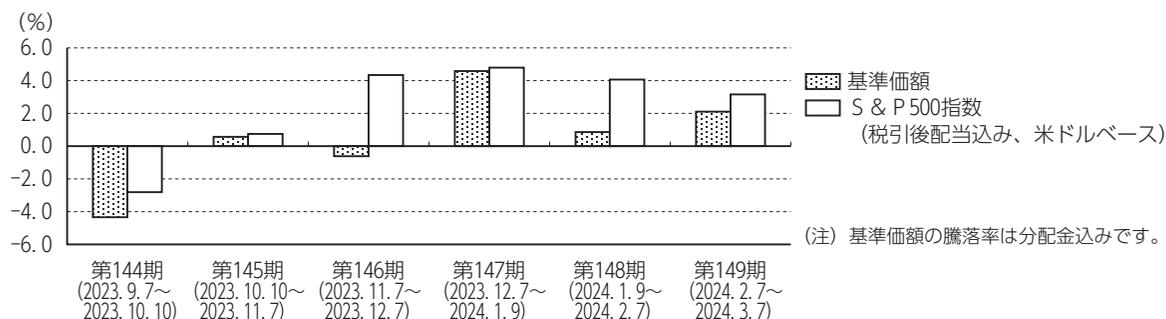
### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>
対基準価額比率 (%)	0.58	0.58	0.59	0.57	0.56	0.56
当期の収益 (円)	23	16	19	29	17	25
当期の収益以外 (円)	11	18	15	5	17	9
翌期繰越分配対象額 (円)	505	486	471	465	447	438

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 23.13円	✓ 16.04円	✓ 19.73円	✓ 29.49円	✓ 17.14円	✓ 25.74円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	247.21	247.87	248.33	248.75	249.15	249.53
(d) 分配準備積立金	✓ 270.18	✓ 257.66	✓ 238.25	✓ 222.57	✓ 216.67	✓ 198.44
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	540.53	521.58	506.31	500.82	482.96	473.71
(f) 分配金	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	505.53	486.58	471.31	465.82	447.96	438.71

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とまらない場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第144期～第149期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0. 669%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6, 101円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0. 437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0. 673	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

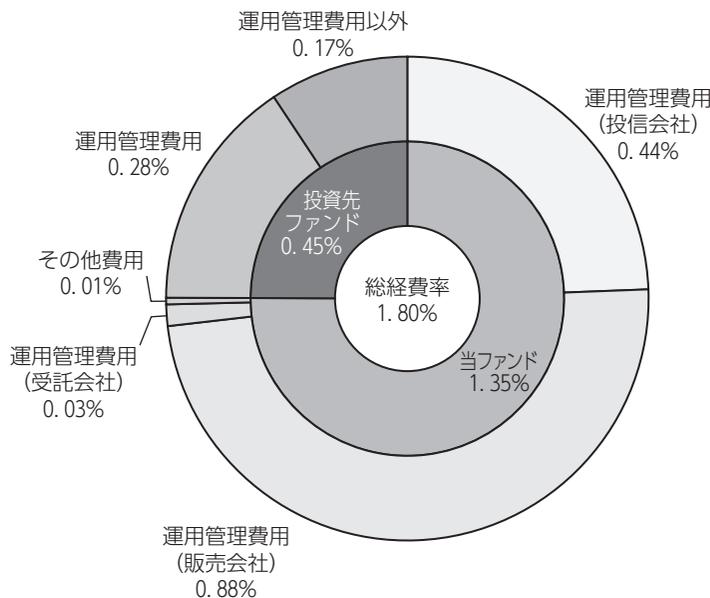
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.80%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.28%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2023年9月8日から2024年3月7日まで)

決 算 期		第 144 期 ～ 第 149 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	168.43932	12,564	767.38677	56,800

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 149 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	3,335.96605	258,070	97.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 149 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	134

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月7日現在

項 目	第 149 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	258,070	96.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	134	0.1
コール・ローン等、その他	9,097	3.4
投資信託財産総額	267,302	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月10日)、(2023年11月7日)、(2023年12月7日)、(2024年1月9日)、(2024年2月7日)、(2024年3月7日)現在

項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
<b>(A) 資産</b>	<b>289,293,952円</b>	<b>289,763,241円</b>	<b>262,968,268円</b>	<b>272,726,642円</b>	<b>265,551,642円</b>	<b>267,302,939円</b>
コール・ローン等	9,146,676	13,117,718	4,567,184	8,652,977	6,527,229	9,097,725
投資信託受益証券 (評価額)	280,012,395	276,510,642	258,266,203	263,933,417	258,889,532	258,070,333
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	134,881	134,881	134,881	134,881	134,881	134,881
その他未収収益	—	—	—	5,367	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>2,042,157</b>	<b>6,514,785</b>	<b>1,957,425</b>	<b>2,000,472</b>	<b>1,789,725</b>	<b>2,667,198</b>
未払収益分配金	1,679,274	1,656,246	1,544,696	1,540,776	1,496,696	1,478,862
未払解約金	1,194	4,559,297	109,130	123,062	—	896,100
未払信託報酬	359,502	295,261	297,810	328,846	283,520	281,024
その他未払費用	2,187	3,981	5,789	7,788	9,509	11,212
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>287,251,795</b>	<b>283,248,456</b>	<b>261,010,843</b>	<b>270,726,170</b>	<b>263,761,917</b>	<b>264,635,741</b>
元本	479,792,780	473,213,147	441,341,828	440,221,965	427,627,578	422,532,244
次期繰越損益金	△ 192,540,985	△ 189,964,691	△ 180,330,985	△ 169,495,795	△ 163,865,661	△ 157,896,503
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>479,792,780口</b>	<b>473,213,147口</b>	<b>441,341,828口</b>	<b>440,221,965口</b>	<b>427,627,578口</b>	<b>422,532,244口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>5,987円</b>	<b>5,986円</b>	<b>5,914円</b>	<b>6,150円</b>	<b>6,168円</b>	<b>6,263円</b>

\* 当作成期首における元本額は479,731,609円、当作成期間 (第144期～第149期) 中における追加設定元本額は5,625,432円、同解約元本額は62,824,797円です。

\* 第149期末の計算口数当りの純資産額は6,263円です。

\* 第149期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は157,896,503円です。

## ■損益の状況

第144期 自 2023年9月8日 至 2023年10月10日 第146期 自 2023年11月8日 至 2023年12月7日 第148期 自 2024年1月10日 至 2024年2月7日

第145期 自 2023年10月11日 至 2023年11月7日 第147期 自 2023年12月8日 至 2024年1月9日 第149期 自 2024年2月8日 至 2024年3月7日

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,471,552円</b>	<b>901,145円</b>	<b>1,170,619円</b>	<b>1,334,662円</b>	<b>824,958円</b>	<b>1,143,660円</b>
受取配当金	1,471,577	901,180	1,170,676	1,329,312	824,979	1,143,660
受取利息	—	—	1	—	—	—
その他収益金	—	—	—	5,365	—	—
支払利息	△ 25	△ 35	△ 58	△ 15	△ 21	—
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 14,197,845</b>	<b>986,928</b>	<b>△ 2,486,878</b>	<b>10,913,407</b>	<b>1,737,929</b>	<b>4,633,728</b>
売買益	559	1,104,280	91,202	10,937,398	1,799,202	4,633,952
売買損	△ 14,198,404	△ 117,352	△ 2,578,080	△ 23,991	△ 61,273	△ 224
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 361,689</b>	<b>△ 297,055</b>	<b>△ 299,618</b>	<b>△ 330,845</b>	<b>△ 285,241</b>	<b>△ 282,727</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 13,087,982</b>	<b>△ 1,591,018</b>	<b>△ 1,615,877</b>	<b>△ 11,917,224</b>	<b>△ 2,277,646</b>	<b>△ 5,494,661</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 58,145,122</b>	<b>△ 71,729,732</b>	<b>△ 66,830,706</b>	<b>△ 69,683,677</b>	<b>△ 57,504,157</b>	<b>△ 55,942,912</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 119,628,607</b>	<b>△ 118,169,731</b>	<b>△ 110,339,706</b>	<b>△ 110,188,566</b>	<b>△ 107,142,454</b>	<b>△ 105,969,390</b>
(配当等相当額)	( 11,861,104)	( 11,729,538)	( 10,959,927)	( 10,950,524)	( 10,654,477)	( 10,543,520)
(売買損益相当額)	(△ 131,489,711)	(△ 129,899,269)	(△ 121,299,633)	(△ 121,139,090)	(△ 117,796,931)	(△ 116,512,910)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 190,861,711</b>	<b>△ 188,308,445</b>	<b>△ 178,786,289</b>	<b>△ 167,955,019</b>	<b>△ 162,368,965</b>	<b>△ 156,417,641</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 1,679,274</b>	<b>△ 1,656,246</b>	<b>△ 1,544,696</b>	<b>△ 1,540,776</b>	<b>△ 1,496,696</b>	<b>△ 1,478,862</b>
<b>次期繰越損益金 (G + H)</b>	<b>△ 192,540,985</b>	<b>△ 189,964,691</b>	<b>△ 180,330,985</b>	<b>△ 169,495,795</b>	<b>△ 163,865,661</b>	<b>△ 157,896,503</b>
追加信託差損益金	△ 119,628,607	△ 118,169,731	△ 110,339,706	△ 110,188,566	△ 107,142,454	△ 105,969,390
(配当等相当額)	( 11,861,104)	( 11,729,538)	( 10,959,927)	( 10,950,524)	( 10,654,477)	( 10,543,520)
(売買損益相当額)	(△ 131,489,711)	(△ 129,899,269)	(△ 121,299,633)	(△ 121,139,090)	(△ 117,796,931)	(△ 116,512,910)
分配準備積立金	12,394,045	11,296,127	9,841,363	9,555,937	8,501,859	7,993,723
繰越損益金	△ 85,306,423	△ 83,091,087	△ 79,832,642	△ 68,863,166	△ 65,225,066	△ 59,920,836

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,109,863円	759,361円	871,001円	1,298,600円	733,139円	1,087,680円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	11,861,104	11,729,538	10,959,927	10,950,524	10,654,477	10,543,520
(d) 分配準備積立金	12,963,456	12,193,012	10,515,058	9,798,113	9,265,416	8,384,905
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	25,934,423	24,681,911	22,345,986	22,047,237	20,653,032	20,016,105
(f) 分配金	1,679,274	1,656,246	1,544,696	1,540,776	1,496,696	1,478,862
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	24,255,149	23,025,665	20,801,290	20,506,461	19,156,336	18,537,243
(h) 受益権総口数	479,792,780口	473,213,147口	441,341,828口	440,221,965口	427,627,578口	422,532,244口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
		35円	35円	35円	35円	35円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
120期末 (2021年10月7日)	3,874	20	△ 5.8	43,093	△ 3.7	81.15	△ 0.8	—	98.8	976
121期末 (2021年11月8日)	4,134	20	7.2	46,421	7.7	84.00	3.5	—	99.6	1,018
122期末 (2021年12月7日)	3,881	20	△ 5.6	45,423	△ 2.2	79.95	△ 4.8	—	99.6	943
123期末 (2022年1月7日)	4,218	20	9.2	46,490	2.3	83.08	3.9	—	98.1	1,006
124期末 (2022年2月7日)	4,043	20	△ 3.7	44,582	△ 4.1	81.50	△ 1.9	—	97.8	949
125期末 (2022年3月7日)	4,207	20	4.6	42,926	△ 3.7	85.01	4.3	—	99.1	981
126期末 (2022年4月7日)	4,709	20	12.4	44,474	3.6	92.82	9.2	—	97.5	1,064
127期末 (2022年5月9日)	4,518	20	△ 3.6	40,950	△ 7.9	91.70	△ 1.2	—	98.6	1,003
128期末 (2022年6月7日)	4,608	20	2.4	40,984	0.1	94.96	3.6	—	97.6	1,013
129期末 (2022年7月7日)	3,922	20	△ 14.5	38,272	△ 6.6	92.19	△ 2.9	—	97.4	845
130期末 (2022年8月8日)	4,250	20	8.9	41,289	7.9	93.51	1.4	—	98.0	902
131期末 (2022年9月7日)	4,227	20	△ 0.1	38,977	△ 5.6	96.09	2.8	—	97.5	883
132期末 (2022年10月7日)	4,110	20	△ 2.3	37,386	△ 4.1	93.02	△ 3.2	—	97.8	850
133期末 (2022年11月7日)	4,298	20	5.1	37,671	0.8	94.61	1.7	—	97.5	874
134期末 (2022年12月7日)	4,321	20	1.0	39,430	4.7	91.93	△ 2.8	—	98.7	848
135期末 (2023年1月10日)	4,354	20	1.2	38,982	△ 1.1	91.10	△ 0.9	—	99.2	843
136期末 (2023年2月7日)	4,501	20	3.8	41,196	5.7	91.39	0.3	—	97.5	869
137期末 (2023年3月7日)	4,484	20	0.1	40,623	△ 1.4	91.64	0.3	—	98.3	863
138期末 (2023年4月7日)	4,144	20	△ 7.1	41,240	1.5	87.90	△ 4.1	—	99.0	774
139期末 (2023年5月8日)	4,228	20	2.5	41,574	0.8	91.14	3.7	—	99.6	790
140期末 (2023年6月7日)	4,335	20	3.0	43,117	3.7	93.21	2.3	—	99.0	785
141期末 (2023年7月7日)	4,504	20	4.4	44,441	3.1	95.43	2.4	—	97.9	792
142期末 (2023年8月7日)	4,636	20	3.4	45,137	1.6	93.21	△ 2.3	—	98.9	812
143期末 (2023年9月7日)	4,626	20	0.2	45,067	△ 0.2	94.31	1.2	—	95.8	787
144期末 (2023年10月10日)	4,459	20	△ 3.2	43,800	△ 2.8	95.42	1.2	—	98.0	751
145期末 (2023年11月7日)	4,599	20	3.6	44,128	0.7	97.28	1.9	—	99.6	767
146期末 (2023年12月7日)	4,540	20	△ 0.8	46,045	4.3	96.46	△ 0.8	—	98.9	753
147期末 (2024年1月9日)	4,762	20	5.3	48,254	4.8	96.81	0.4	—	98.0	761
148期末 (2024年2月7日)	4,770	20	0.6	50,214	4.1	96.54	△ 0.3	—	99.4	755
149期末 (2024年3月7日)	4,948	20	4.2	51,799	3.2	97.92	1.4	—	99.3	772

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

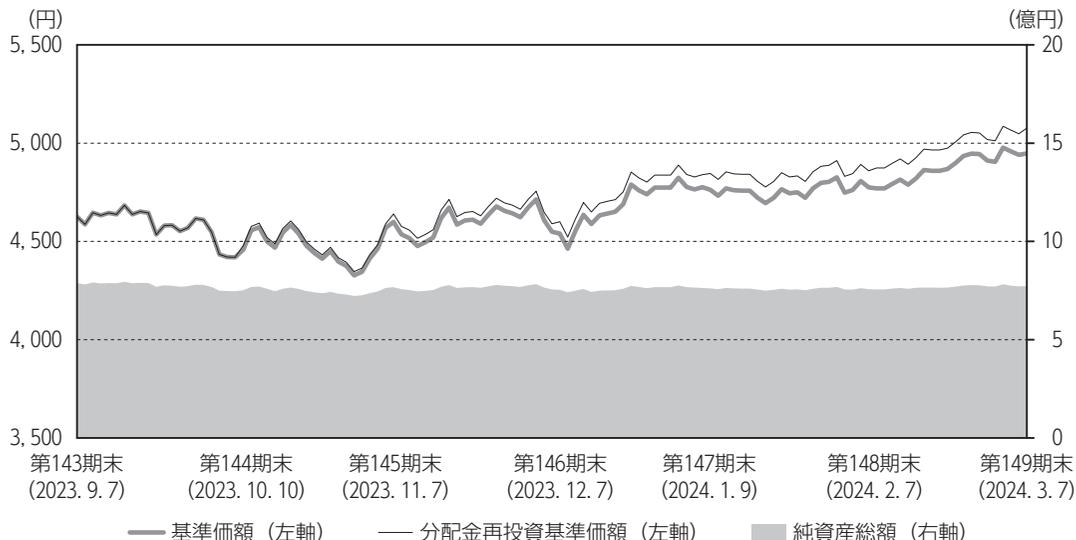
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第144期首：4,626円

第149期末：4,948円 (既払分配金120円)

騰落率：9.7% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クローキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」については、米国株式市況が上昇したことや豪ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト  
クローキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第144期	(期首) 2023年 9月 7日	4,626	—	45,067	—	94.31	—	—	95.8
	9月末	4,617	△ 0.2	43,423	△ 3.6	96.06	1.9	—	99.3
	(期末) 2023年10月10日	4,479	△ 3.2	43,800	△ 2.8	95.42	1.2	—	98.0
第145期	(期首) 2023年10月10日	4,459	—	43,800	—	95.42	—	—	98.0
	10月末	4,345	△ 2.6	42,109	△ 3.9	95.19	△ 0.2	—	99.0
	(期末) 2023年11月 7日	4,619	3.6	44,128	0.7	97.28	1.9	—	99.6
第146期	(期首) 2023年11月 7日	4,599	—	44,128	—	97.28	—	—	99.6
	11月末	4,623	0.5	46,043	4.3	97.45	0.2	—	98.3
	(期末) 2023年12月 7日	4,560	△ 0.8	46,045	4.3	96.46	△ 0.8	—	98.9
第147期	(期首) 2023年12月 7日	4,540	—	46,045	—	96.46	—	—	98.9
	12月末	4,777	5.2	48,445	5.2	96.94	0.5	—	99.0
	(期末) 2024年 1月 9日	4,782	5.3	48,254	4.8	96.81	0.4	—	98.0
第148期	(期首) 2024年 1月 9日	4,762	—	48,254	—	96.81	—	—	98.0
	1月末	4,826	1.3	49,911	3.4	97.16	0.4	—	98.5
	(期末) 2024年 2月 7日	4,790	0.6	50,214	4.1	96.54	△ 0.3	—	99.4
第149期	(期首) 2024年 2月 7日	4,770	—	50,214	—	96.54	—	—	99.4
	2月末	4,911	3.0	51,429	2.4	97.88	1.4	—	98.3
	(期末) 2024年 3月 7日	4,968	4.2	51,799	3.2	97.92	1.4	—	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 9. 8 ～ 2024. 3. 7）

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

豪ドル為替相場は、対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2023年10月にかけて、オーストラリアの長期金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇傾向となりました。11月は、各国での長期金利低下による投資家のリスク選好姿勢の高まりを受け、対円で上昇しました。12月は、オーストラリアの長期金利の低下を背景に日豪金利差の縮小が意識され、対円で下落（円高）しました。2024年1月は、オーストラリアで長期金利が上昇したものの、日本の長期金利も上昇傾向となったことなどから、対円でおおむね横ばいでの推移となりました。2月から当作成期末にかけては、日銀副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しだと発言した一方で、R B A（オーストラリア準備銀行）は追加利上げの可能性を残したことなどから内外金利差が拡大した状況の継続が意識され、豪ドル円は上昇しました。

### ■ 短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を4.35%に引き上げました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を5.25～5.50%に据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

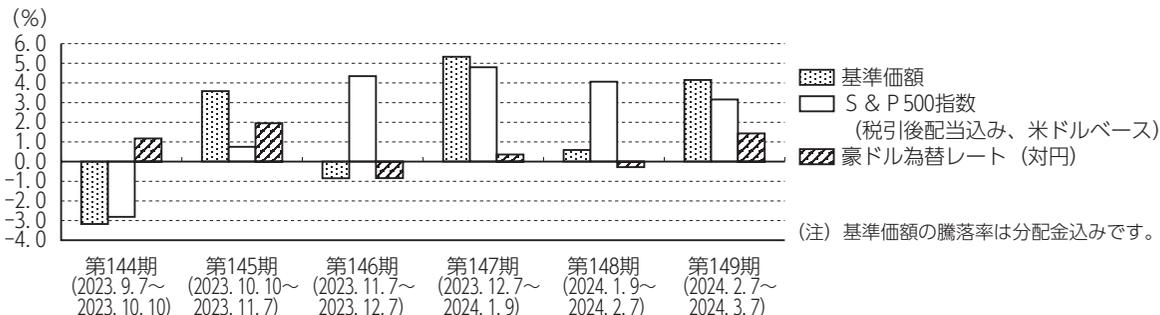
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率 (%)	0.45	0.43	0.44	0.42	0.42	0.40
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	621	632	641	658	666	682

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注4) 投資信託の計画上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.79円	✓ 31.38円	✓ 28.41円	✓ 36.97円	✓ 28.42円	✓ 35.37円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	203.16	203.45	205.66	205.89	206.16	206.40
(d) 分配準備積立金	407.47	417.99	427.17	435.36	452.06	460.25
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	641.43	652.83	661.25	678.22	686.65	702.03
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	621.43	632.83	641.25	658.22	666.65	682.03

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄と異なる場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第144期～第149期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0. 668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4, 666円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0. 437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	31	0. 672	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

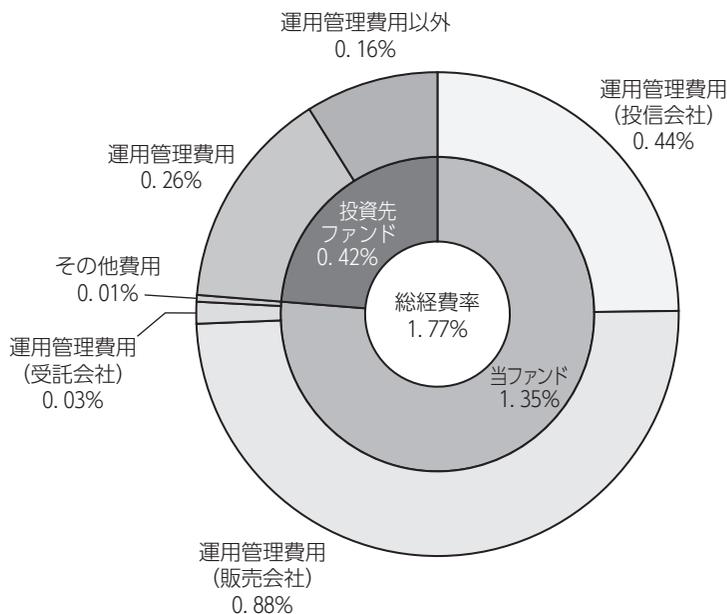
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2023年9月8日から2024年3月7日まで)

決 算 期		第 144 期 ～ 第 149 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	670.97441	55,113	1,020.61389	83,300

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 149 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	8,825.6501	767,231	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 149 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	52	52	53

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月7日現在

項 目	第 149 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	767,231	98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	53	0.0
コール・ローン等、その他	14,090	1.8
投資信託財産総額	781,376	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月10日)、(2023年11月7日)、(2023年12月7日)、(2024年1月9日)、(2024年2月7日)、(2024年3月7日)現在

項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
<b>(A) 資産</b>	<b>772,770,398円</b>	<b>771,886,862円</b>	<b>758,823,739円</b>	<b>769,407,717円</b>	<b>759,962,848円</b>	<b>781,376,174円</b>
コール・ローン等	6,148,607	7,580,183	13,850,647	23,149,369	8,503,500	14,090,926
投資信託受益証券 (評価額)	736,767,957	764,252,845	744,919,258	746,204,514	751,405,514	767,231,414
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	53,834	53,834	53,834	53,834	53,834	53,834
未収入金	29,800,000	—	—	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>21,230,989</b>	<b>4,865,892</b>	<b>5,375,526</b>	<b>8,029,864</b>	<b>4,004,977</b>	<b>8,926,621</b>
未払金	14,900,000	—	—	—	—	—
未払収益分配金	3,370,632	3,335,448	3,319,263	3,197,652	3,169,486	3,122,302
未払解約金	2,012,214	750,205	1,195,572	3,887,860	—	4,954,008
未払信託報酬	942,386	769,786	845,079	923,100	809,297	819,115
その他未払費用	5,757	10,453	15,612	21,252	26,194	31,196
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>751,539,409</b>	<b>767,020,970</b>	<b>753,448,213</b>	<b>761,377,853</b>	<b>755,957,871</b>	<b>772,449,553</b>
元本	1,685,316,447	1,667,724,095	1,659,631,538	1,598,826,326	1,584,743,339	1,561,151,138
次期繰越損益金	△ 933,777,038	△ 900,703,125	△ 906,183,325	△ 837,448,473	△ 828,785,468	△ 788,701,585
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,685,316,447口</b>	<b>1,667,724,095口</b>	<b>1,659,631,538口</b>	<b>1,598,826,326口</b>	<b>1,584,743,339口</b>	<b>1,561,151,138口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>4,459円</b>	<b>4,599円</b>	<b>4,540円</b>	<b>4,762円</b>	<b>4,770円</b>	<b>4,948円</b>

\* 当作成期首における元本額は1,702,404,712円、当作成期間 (第144期～第149期) 中における追加設定元本額は13,435,204円、同解約元本額は154,688,778円です。

\* 第149期末の計算口数当りの純資産額は4,948円です。

\* 第149期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は788,701,585円です。

■損益の状況

第144期 自 2023年9月8日 至 2023年10月10日 第146期 自 2023年11月8日 至 2023年12月7日 第148期 自 2024年1月10日 至 2024年2月7日  
 第145期 自 2023年10月11日 至 2023年11月7日 第147期 自 2023年12月8日 至 2024年1月9日 第149期 自 2024年2月8日 至 2024年3月7日

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>6,137,545円</b>	<b>5,386,608円</b>	<b>5,565,933円</b>	<b>6,053,192円</b>	<b>5,318,412円</b>	<b>5,670,015円</b>
受取配当金	6,137,977	5,386,703	5,566,064	6,053,315	5,318,498	5,670,029
受取利息	1	—	—	—	—	—
支払利息	△ 433	△ 95	△ 131	△ 123	△ 86	△ 14
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 29,919,793</b>	<b>△ 22,051,027</b>	<b>△ 11,249,357</b>	<b>△ 33,604,555</b>	<b>△ 48,020</b>	<b>△ 26,020,646</b>
売買益	160,265	22,094,039	35,906	33,988,376	53,719	26,215,408
売買損	△ 30,080,058	△ 43,012	△ 11,285,263	△ 383,821	△ 101,739	△ 194,762
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 948,143</b>	<b>△ 774,482</b>	<b>△ 850,238</b>	<b>△ 928,740</b>	<b>△ 814,239</b>	<b>△ 824,117</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 24,730,391</b>	<b>△ 26,663,153</b>	<b>△ 6,533,662</b>	<b>△ 38,729,007</b>	<b>△ 4,456,153</b>	<b>△ 30,866,544</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 421,028,422</b>	<b>△ 444,149,260</b>	<b>△ 416,627,925</b>	<b>△ 410,643,433</b>	<b>△ 371,583,761</b>	<b>△ 364,598,910</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 484,647,593</b>	<b>△ 479,881,570</b>	<b>△ 479,702,475</b>	<b>△ 462,336,395</b>	<b>△ 458,488,374</b>	<b>△ 451,846,917</b>
(配当等相当額)	( 34,240,571)	( 33,930,191)	( 34,132,839)	( 32,918,722)	( 32,672,624)	( 32,223,060)
(売買損益相当額)	(△ 518,888,164)	(△ 513,811,761)	(△ 513,835,314)	(△ 495,255,117)	(△ 491,160,998)	(△ 484,069,977)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 930,406,406</b>	<b>△ 897,367,677</b>	<b>△ 902,864,062</b>	<b>△ 834,250,821</b>	<b>△ 825,615,982</b>	<b>△ 785,579,283</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 3,370,632</b>	<b>△ 3,335,448</b>	<b>△ 3,319,263</b>	<b>△ 3,197,652</b>	<b>△ 3,169,486</b>	<b>△ 3,122,302</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 933,777,038	△ 900,703,125	△ 906,183,325	△ 837,448,473	△ 828,785,468	△ 788,701,585
追加信託差損益金	△ 484,647,593	△ 479,881,570	△ 479,702,475	△ 462,336,395	△ 458,488,374	△ 451,846,917
(配当等相当額)	( 34,240,571)	( 33,930,191)	( 34,132,839)	( 32,918,722)	( 32,672,624)	( 32,223,060)
(売買損益相当額)	(△ 518,888,164)	(△ 513,811,761)	(△ 513,835,314)	(△ 495,255,117)	(△ 491,160,998)	(△ 484,069,977)
分配準備積立金	70,491,075	71,608,562	72,291,391	72,320,657	72,975,095	74,252,422
繰越損益金	△ 519,620,520	△ 492,430,117	△ 498,772,241	△ 447,432,735	△ 443,272,189	△ 411,107,090

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,189,402円	5,234,577円	4,715,695円	5,911,466円	4,504,173円	5,522,580円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	34,240,571	33,930,191	34,132,839	32,918,722	32,672,624	32,223,060
(d) 分配準備積立金	68,672,305	69,709,433	70,894,959	69,606,843	71,640,408	71,852,144
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	108,102,278	108,874,201	109,743,493	108,437,031	108,817,205	109,597,784
(f) 分配金	3,370,632	3,335,448	3,319,263	3,197,652	3,169,486	3,122,302
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	104,731,646	105,538,753	106,424,230	105,239,379	105,647,719	106,475,482
(h) 受益権総口数	1,685,316,447口	1,667,724,095口	1,659,631,538口	1,598,826,326口	1,584,743,339口	1,561,151,138口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
120期末 (2021年10月7日)	1,607	20	△ 8.9	43,093	△ 3.7	20,2736	△ 4.5	—	99.4	14,057
121期末 (2021年11月8日)	1,664	20	△ 4.8	46,421	7.7	20,4947	1.1	—	98.3	14,336
122期末 (2021年12月7日)	1,600	20	△ 2.6	45,423	△ 2.2	19,9578	△ 2.6	—	99.5	13,542
123期末 (2022年1月7日)	1,710	20	8.1	46,490	2.3	20,3891	2.2	—	99.5	14,141
124期末 (2022年2月7日)	1,767	20	4.5	44,582	△ 4.1	21,6350	6.1	—	98.0	14,309
125期末 (2022年3月7日)	1,854	20	6.1	42,926	△ 3.7	22,7004	4.9	—	97.6	14,908
126期末 (2022年4月7日)	2,178	20	18.6	44,474	3.6	26,2122	15.5	—	98.0	17,231
127期末 (2022年5月9日)	2,062	20	△ 4.4	40,950	△ 7.9	25,7450	△ 1.8	—	99.4	15,779
128期末 (2022年6月7日)	2,187	20	7.0	40,984	0.1	27,5786	7.1	—	99.2	16,573
129期末 (2022年7月7日)	1,718	20	△ 20.5	38,272	△ 6.6	25,0212	△ 9.3	—	99.2	12,842
130期末 (2022年8月8日)	1,926	20	13.3	41,289	7.9	26,1994	4.7	—	97.7	14,331
131期末 (2022年9月7日)	1,960	20	2.8	38,977	△ 5.6	27,2452	4.0	—	99.5	14,486
132期末 (2022年10月7日)	2,025	20	4.3	37,386	△ 4.1	27,7334	1.8	—	99.1	14,845
133期末 (2022年11月7日)	2,180	20	8.6	37,671	0.8	29,0454	4.7	—	96.1	15,693
134期末 (2022年12月7日)	2,036	20	△ 5.7	39,430	4.7	26,2037	△ 9.8	—	97.6	14,176
135期末 (2023年1月10日)	2,010	20	△ 0.3	38,982	△ 1.1	25,0685	△ 4.3	—	99.2	13,914
136期末 (2023年2月7日)	2,097	20	5.3	41,196	5.7	25,7320	2.6	—	98.8	14,393
137期末 (2023年3月7日)	2,136	20	2.8	40,623	△ 1.4	26,3783	2.5	—	97.8	14,484
138期末 (2023年4月7日)	2,041	20	△ 3.5	41,240	1.5	26,0461	△ 1.3	—	97.3	13,636
139期末 (2023年5月8日)	2,088	20	3.3	41,574	0.8	27,2817	4.7	—	99.1	13,867
140期末 (2023年6月7日)	2,199	20	6.3	43,117	3.7	28,3804	4.0	—	98.6	14,118
141期末 (2023年7月7日)	2,307	20	5.8	44,441	3.1	29,2985	3.2	—	98.8	14,587
142期末 (2023年8月7日)	2,415	20	5.5	45,137	1.6	29,0567	△ 0.8	—	99.0	15,045
143期末 (2023年9月7日)	2,429	20	1.4	45,067	△ 0.2	29,6982	2.2	—	98.4	14,998
144期末 (2023年10月10日)	2,260	20	△ 6.1	43,800	△ 2.8	28,9156	△ 2.6	—	97.5	13,879
145期末 (2023年11月7日)	2,408	20	7.4	44,128	0.7	30,7014	6.2	—	97.7	14,654
146期末 (2023年12月7日)	2,348	20	△ 1.7	46,045	4.3	29,9971	△ 2.3	—	97.5	14,057
147期末 (2024年1月9日)	2,416	20	3.7	48,254	4.8	29,5245	△ 1.6	—	97.6	14,228
148期末 (2024年2月7日)	2,460	20	2.6	50,214	4.1	29,8101	1.0	—	97.6	14,253
149期末 (2024年3月7日)	2,539	20	4.0	51,799	3.2	30,1110	1.0	—	98.5	14,370

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

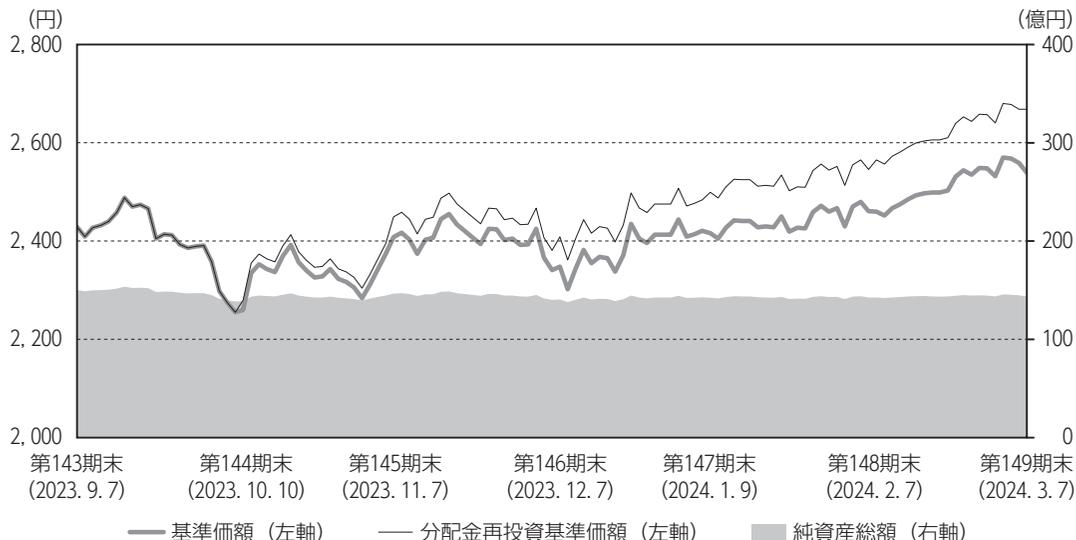
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第144期首：2,429円

第149期末：2,539円（既払分配金120円）

騰落率：9.9%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」については、米国株式市況の上昇やブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）：オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第144期	(期首) 2023年 9月 7日	2,429	—	45,067	—	29.6982	—	—	98.4
	9月末	2,389	△ 1.6	43,423	△ 3.6	29.6897	△ 0.0	—	98.8
	(期末) 2023年10月10日	2,280	△ 6.1	43,800	△ 2.8	28.9156	△ 2.6	—	97.5
第145期	(期首) 2023年10月10日	2,260	—	43,800	—	28.9156	—	—	97.5
	10月末	2,284	1.1	42,109	△ 3.9	29.5925	2.3	—	99.0
	(期末) 2023年11月 7日	2,428	7.4	44,128	0.7	30.7014	6.2	—	97.7
第146期	(期首) 2023年11月 7日	2,408	—	44,128	—	30.7014	—	—	97.7
	11月末	2,392	△ 0.7	46,043	4.3	29.9602	△ 2.4	—	99.1
	(期末) 2023年12月 7日	2,368	△ 1.7	46,045	4.3	29.9971	△ 2.3	—	97.5
第147期	(期首) 2023年12月 7日	2,348	—	46,045	—	29.9971	—	—	97.5
	12月末	2,409	2.6	48,445	5.2	29.1804	△ 2.7	—	99.1
	(期末) 2024年 1月 9日	2,436	3.7	48,254	4.8	29.5245	△ 1.6	—	97.6
第148期	(期首) 2024年 1月 9日	2,416	—	48,254	—	29.5245	—	—	97.6
	1月末	2,467	2.1	49,911	3.4	29.7948	0.9	—	99.1
	(期末) 2024年 2月 7日	2,480	2.6	50,214	4.1	29.8101	1.0	—	97.6
第149期	(期首) 2024年 2月 7日	2,460	—	50,214	—	29.8101	—	—	97.6
	2月末	2,548	3.6	51,429	2.4	30.2923	1.6	—	97.5
	(期末) 2024年 3月 7日	2,559	4.0	51,799	3.2	30.1110	1.0	—	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 9. 8 ～ 2024. 3. 7）

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

ブラジル・リアル為替相場は、対円で上昇しました。

ブラジル・リアル対円為替相場は、当作成期首から2023年11月半ばにかけて、米国の金融引き締め観測から米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことや、ブラジルの財政健全化期待が高まったことなどから、上昇しました。しかしその後は、日銀がマイナス金利を早期に解除するとの思惑から円高が進行し、ブラジル・リアルは対円で下落（円高）しました。2024年に入ってから、中国景気回復への期待や原油価格が上昇したことなどから、当作成期末にかけてブラジル・リアルは対円で上昇しました。

### ■ 短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を11.25%に引き下げました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF Fレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を5.25～5.50%に据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行いました。

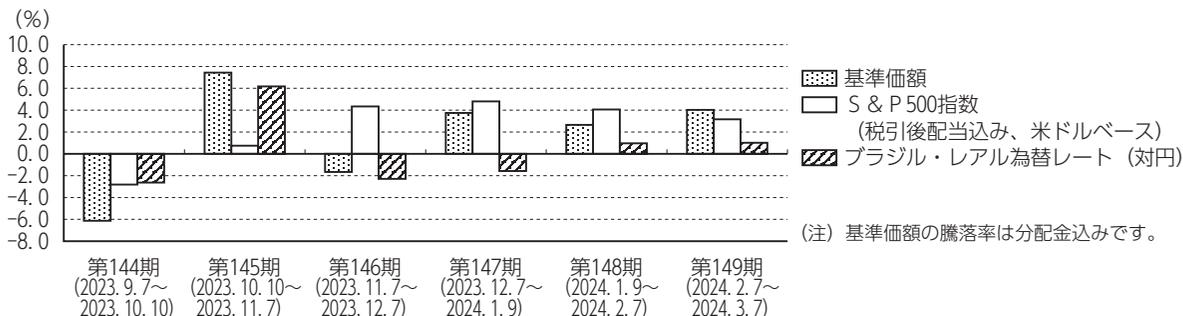
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率 (%)	0.88	0.82	0.84	0.82	0.81	0.78
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,272	1,287	1,295	1,306	1,314	1,322

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に一致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.12円	✓ 34.82円	✓ 27.75円	✓ 30.51円	✓ 28.29円	✓ 28.21円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,029.80	1,030.18	1,030.59	1,031.01	1,031.43	1,031.82
(d) 分配準備積立金	232.00	242.74	257.16	264.49	274.59	282.49
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,292.92	1,307.75	1,315.50	1,326.02	1,334.32	1,342.53
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,272.92	1,287.75	1,295.50	1,306.02	1,314.32	1,322.53

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄と異なる場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第144期～第149期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	16円	0. 666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2, 415円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0. 217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0. 436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	16	0. 668	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

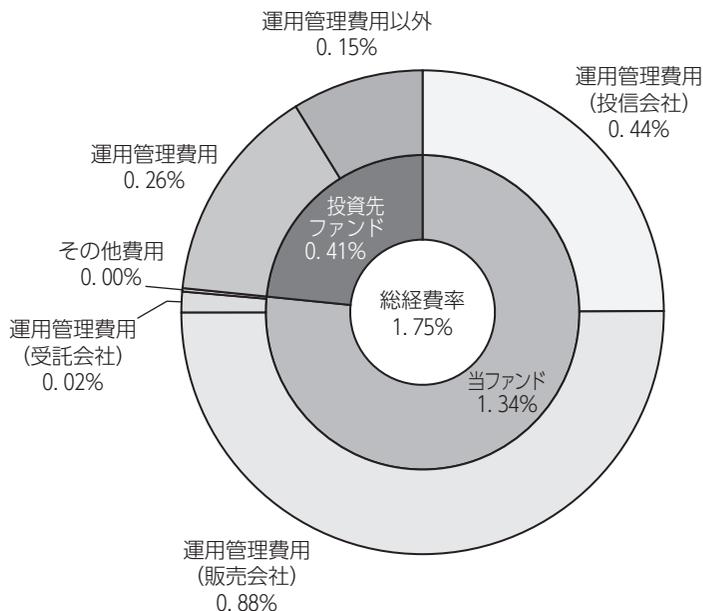
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	1.75%
①当ファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2023年9月8日から2024年3月7日まで)

決 算 期		第 144 期 ~ 第 149 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	35,205.43693	1,283,001	59,750.46474	2,169,900

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 149 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	368,116.89645	14,158,143	98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 149 期 末		
	第143期末 □ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	467	467	474

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月7日現在

項 目	第 149 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	14,158,143	97.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	474	0.0
コール・ローン等、その他	361,329	2.5
投資信託財産総額	14,519,948	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月10日)、(2023年11月7日)、(2023年12月7日)、(2024年1月9日)、(2024年2月7日)、(2024年3月7日)現在

項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
<b>(A) 資産</b>	<b>14,032,909,575円</b>	<b>14,865,980,616円</b>	<b>14,204,747,306円</b>	<b>14,393,864,351円</b>	<b>14,405,446,506円</b>	<b>14,519,948,097円</b>
コール・ローン等	506,829,820	549,257,046	496,717,090	503,587,056	493,996,848	361,329,351
投資信託受益証券 (評価額)	13,525,604,963	14,316,248,778	13,707,555,424	13,889,802,503	13,910,974,866	14,158,143,954
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	474,792	474,792	474,792	474,792	474,792	474,792
<b>(B) 負債</b>	<b>153,687,715</b>	<b>211,246,932</b>	<b>147,416,656</b>	<b>165,292,194</b>	<b>152,102,584</b>	<b>149,784,355</b>
未払収益分配金	122,818,290	121,729,470	119,729,886	117,775,597	115,899,972	113,207,748
未払解約金	12,816,176	74,570,211	11,347,410	29,911,618	20,453,604	20,622,908
未払信託報酬	17,943,405	14,747,135	16,041,048	17,201,370	15,252,034	15,362,681
その他未払費用	109,844	200,116	298,312	403,609	496,974	591,018
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>13,879,221,860</b>	<b>14,654,733,684</b>	<b>14,057,330,650</b>	<b>14,228,572,157</b>	<b>14,253,343,922</b>	<b>14,370,163,742</b>
元本	61,409,145,499	60,864,735,158	59,864,943,271	58,887,798,673	57,949,986,347	56,603,874,277
次期繰越損益金	△ 47,529,923,639	△ 46,210,001,474	△ 45,807,612,621	△ 44,659,226,516	△ 43,696,642,425	△ 42,233,710,535
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>61,409,145,499口</b>	<b>60,864,735,158口</b>	<b>59,864,943,271口</b>	<b>58,887,798,673口</b>	<b>57,949,986,347口</b>	<b>56,603,874,277口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>2,260円</b>	<b>2,408円</b>	<b>2,348円</b>	<b>2,416円</b>	<b>2,460円</b>	<b>2,539円</b>

\* 当作成期首における元本額は61,738,253,471円、当作成期間 (第144期～第149期) 中における追加設定元本額は557,821,419円、同解約元本額は5,692,200,613円です。

\* 第149期末の計算口数当りの純資産額は2,539円です。

\* 第149期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は42,233,710,535円です。

■損益の状況

第144期 自 2023年9月8日 至 2023年10月10日    第146期 自 2023年11月8日 至 2023年12月7日    第148期 自 2024年1月10日 至 2024年2月7日  
 第145期 自 2023年10月11日 至 2023年11月7日    第147期 自 2023年12月8日 至 2024年1月9日    第149期 自 2024年2月8日 至 2024年3月7日

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>209,177,053円</b>	<b>215,025,749円</b>	<b>182,264,993円</b>	<b>185,717,062円</b>	<b>170,805,423円</b>	<b>164,082,049円</b>
受取配当金	209,185,128	215,027,997	182,267,830	185,719,830	170,807,416	164,082,813
受取利息	4	5	5	4	8	1
支払利息	△ 8,079	△ 2,253	△ 2,842	△ 2,772	△ 2,001	△ 765
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 1,107,580,458</b>	<b>820,041,751</b>	<b>△ 403,055,280</b>	<b>350,009,132</b>	<b>211,787,115</b>	<b>412,454,886</b>
売買益	2,159,580	823,081,998	1,819,654	351,215,066	211,907,818	415,017,996
売買損	△ 1,109,740,038	△ 3,040,247	△ 404,874,934	△ 1,205,934	△ 120,703	△ 2,563,110
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 18,053,249</b>	<b>△ 14,837,407</b>	<b>△ 16,139,244</b>	<b>△ 17,306,667</b>	<b>△ 15,345,399</b>	<b>△ 15,456,725</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 916,456,654</b>	<b>1,020,230,093</b>	<b>△ 236,929,531</b>	<b>518,419,527</b>	<b>367,247,139</b>	<b>561,080,210</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 22,030,540,142</b>	<b>△ 22,829,084,650</b>	<b>△ 21,536,950,369</b>	<b>△ 21,502,328,446</b>	<b>△ 20,733,988,110</b>	<b>△ 19,979,073,855</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 24,460,108,553</b>	<b>△ 24,279,417,447</b>	<b>△ 23,914,002,835</b>	<b>△ 23,557,542,000</b>	<b>△ 23,214,001,482</b>	<b>△ 22,702,509,142</b>
(配当等相当額)	( 6,323,917,072)	( 6,270,215,897)	( 6,169,629,263)	( 6,071,412,029)	( 5,977,167,302)	( 5,840,556,404)
(売買損益相当額)	(△ 30,784,025,625)	(△ 30,549,633,344)	(△ 30,083,632,098)	(△ 29,628,954,029)	(△ 29,191,168,784)	(△ 28,543,065,546)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 47,407,105,349</b>	<b>△ 46,088,272,004</b>	<b>△ 45,687,882,735</b>	<b>△ 44,541,450,919</b>	<b>△ 43,580,742,453</b>	<b>△ 42,120,502,787</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 122,818,290</b>	<b>△ 121,729,470</b>	<b>△ 119,729,886</b>	<b>△ 117,775,597</b>	<b>△ 115,899,972</b>	<b>△ 113,207,748</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 47,529,923,639	△ 46,210,001,474	△ 45,807,612,621	△ 44,659,226,516	△ 43,696,642,425	△ 42,233,710,535
追加信託差損益金	△ 24,460,108,553	△ 24,279,417,447	△ 23,914,002,835	△ 23,557,542,000	△ 23,214,001,482	△ 22,702,509,142
(配当等相当額)	( 6,323,917,072)	( 6,270,215,897)	( 6,169,629,263)	( 6,071,412,029)	( 5,977,167,302)	( 5,840,556,404)
(売買損益相当額)	(△ 30,784,025,625)	(△ 30,549,633,344)	(△ 30,083,632,098)	(△ 29,628,954,029)	(△ 29,191,168,784)	(△ 28,543,065,546)
分配準備積立金	1,493,013,843	1,567,648,992	1,585,907,008	1,619,505,009	1,639,340,432	1,645,512,454
繰越損益金	△ 24,562,828,929	△ 23,498,233,019	△ 23,479,516,794	△ 22,721,189,525	△ 22,121,981,375	△ 21,176,713,847

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	191,123,793円	211,944,020円	166,125,748円	179,716,838円	163,955,237円	159,683,065円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	6,323,917,072	6,270,215,897	6,169,629,263	6,071,412,029	5,977,167,302	5,840,556,404
(d) 分配準備積立金	1,424,708,340	1,477,434,442	1,539,511,146	1,557,563,768	1,591,285,167	1,599,037,137
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	7,939,749,205	7,959,594,359	7,875,266,157	7,808,692,635	7,732,407,706	7,599,276,606
(f) 分配金	122,818,290	121,729,470	119,729,886	117,775,597	115,899,972	113,207,748
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	7,816,930,915	7,837,864,889	7,755,536,271	7,690,917,038	7,616,507,734	7,486,068,858
(h) 受益権総口数	61,409,145,499口	60,864,735,158口	59,864,943,271口	58,887,798,673口	57,949,986,347口	56,603,874,277口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500 指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
120期末 (2021年10月7日)	5,317	40	△ 3.6	62,548	△ 2.3	—	99.6	2,803
121期末 (2021年11月8日)	5,565	40	5.4	68,722	9.9	—	99.5	2,911
122期末 (2021年12月7日)	5,485	40	△ 0.7	67,172	△ 2.3	—	98.8	2,738
123期末 (2022年1月7日)	5,872	40	7.8	70,252	4.6	—	98.7	2,846
124期末 (2022年2月7日)	5,697	40	△ 2.3	66,951	△ 4.7	—	97.5	2,701
125期末 (2022年3月7日)	5,686	40	0.5	64,330	△ 3.9	—	98.6	2,558
126期末 (2022年4月7日)	6,243	40	10.5	71,657	11.4	—	98.7	2,761
127期末 (2022年5月9日)	6,384	40	2.9	69,777	△ 2.6	—	99.4	2,737
128期末 (2022年6月7日)	6,415	40	1.1	70,615	1.2	—	97.6	2,735
129期末 (2022年7月7日)	5,811	40	△ 8.8	67,758	△ 4.0	—	97.5	2,467
130期末 (2022年8月8日)	6,146	40	6.5	72,809	7.5	—	99.7	2,557
131期末 (2022年9月7日)	6,269	40	2.7	72,683	△ 0.2	—	98.2	2,605
132期末 (2022年10月7日)	6,375	40	2.3	70,593	△ 2.9	—	97.8	2,612
133期末 (2022年11月7日)	6,661	40	5.1	72,170	2.2	—	99.5	2,704
134期末 (2022年12月7日)	6,441	40	△ 2.7	70,543	△ 2.3	—	98.8	2,587
135期末 (2023年1月10日)	6,367	40	△ 0.5	66,968	△ 5.1	—	99.6	2,541
136期末 (2023年2月7日)	6,571	40	3.8	71,164	6.3	—	98.2	2,617
137期末 (2023年3月7日)	6,670	40	2.1	72,052	1.2	—	99.1	2,651
138期末 (2023年4月7日)	6,214	40	△ 6.2	70,809	△ 1.7	—	97.4	2,466
139期末 (2023年5月8日)	6,344	40	2.7	73,204	3.4	—	99.4	2,519
140期末 (2023年6月7日)	6,504	40	3.2	78,374	7.1	—	99.2	2,503
141期末 (2023年7月7日)	6,806	40	5.3	83,468	6.5	—	99.6	2,594
142期末 (2023年8月7日)	7,041	40	4.0	83,335	△ 0.2	—	98.3	2,675
143期末 (2023年9月7日)	7,255	40	3.6	86,870	4.2	—	95.1	2,730
144期末 (2023年10月10日)	7,033	40	△ 2.5	84,804	△ 2.4	—	99.5	2,639
145期末 (2023年11月7日)	7,083	40	1.3	86,301	1.8	—	98.2	2,646
146期末 (2023年12月7日)	6,915	40	△ 1.8	88,292	2.3	—	99.2	2,574
147期末 (2024年1月9日)	7,096	40	3.2	90,522	2.5	—	98.9	2,598
148期末 (2024年2月7日)	7,340	40	4.0	96,751	6.9	—	97.2	2,627
149期末 (2024年3月7日)	7,547	40	3.4	100,575	4.0	—	93.8	2,687

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

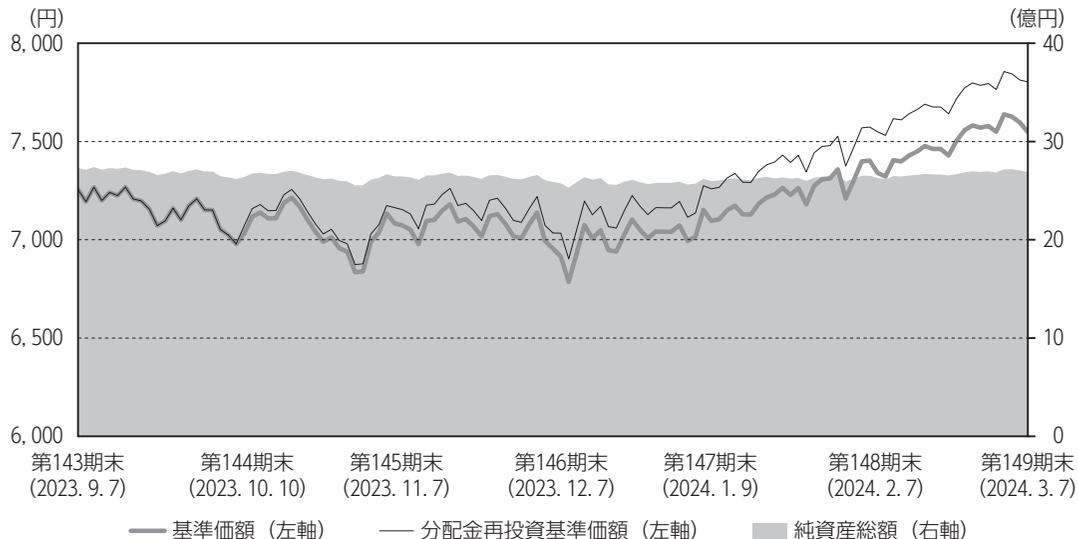
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第144期首：7,255円

第149期末：7,547円 (既払分配金240円)

騰落率：7.6% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」については、米国株式市況の上昇や米ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト  
クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
第144期	(期首) 2023年 9月 7日	円 7,255	% —	86,870	% —	% —	% 95.1
	9月末	7,208	△ 0.6	84,628	△ 2.6	—	98.5
	(期末) 2023年10月10日	7,073	△ 2.5	84,804	△ 2.4	—	99.5
第145期	(期首) 2023年10月10日	7,033	—	84,804	—	—	99.5
	10月末	6,839	△ 2.8	82,028	△ 3.3	—	97.5
	(期末) 2023年11月 7日	7,123	1.3	86,301	1.8	—	98.2
第146期	(期首) 2023年11月 7日	7,083	—	86,301	—	—	98.2
	11月末	7,009	△ 1.0	88,228	2.2	—	98.5
	(期末) 2023年12月 7日	6,955	△ 1.8	88,292	2.3	—	99.2
第147期	(期首) 2023年12月 7日	6,915	—	88,292	—	—	99.2
	12月末	6,994	1.1	89,524	1.4	—	98.3
	(期末) 2024年 1月 9日	7,136	3.2	90,522	2.5	—	98.9
第148期	(期首) 2024年 1月 9日	7,096	—	90,522	—	—	98.9
	1月末	7,358	3.7	95,954	6.0	—	98.0
	(期末) 2024年 2月 7日	7,380	4.0	96,751	6.9	—	97.2
第149期	(期首) 2024年 2月 7日	7,340	—	96,751	—	—	97.2
	2月末	7,579	3.3	100,963	4.4	—	98.0
	(期末) 2024年 3月 7日	7,587	3.4	100,575	4.0	—	93.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇しました。しかし2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を背景に、米ドルは対円で下落（円高）しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じ、当作成期末にかけても、日銀副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどを受け、円安米ドル高基調となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

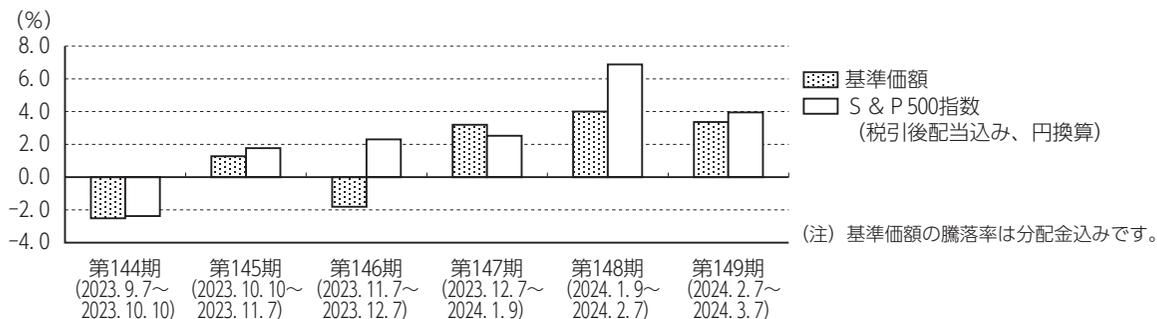
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.57	0.56	0.58	0.56	0.54	0.53
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,458	1,473	1,486	1,507	1,530	1,737

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 55.03円	✓ 55.48円	✓ 52.59円	✓ 61.70円	✓ 55.62円	✓ 59.07円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	7.08	187.11
(c) 収益調整金	742.79	743.98	746.05	747.25	748.93	752.58
(d) 分配準備積立金	700.31	714.18	727.60	739.00	759.03	778.24
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,498.15	1,513.65	1,526.25	1,547.96	1,570.66	1,777.02
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,458.15	1,473.65	1,486.25	1,507.96	1,530.66	1,737.02

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄としない場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第144期～第149期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0. 668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7, 173円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0. 437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0. 672	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

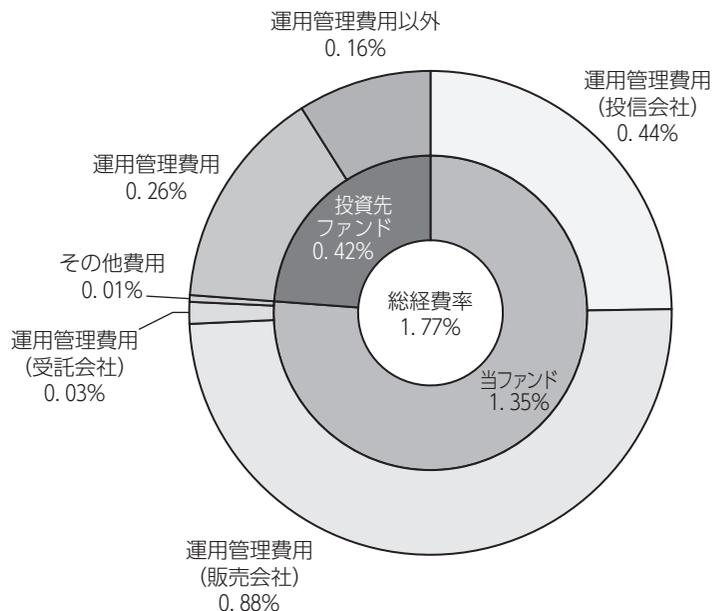
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2023年9月8日から2024年3月7日まで)

決 算 期		第 144 期 ～ 第 149 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	1,476.81118	228,879	2,413.24831	376,900

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 149 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	15,574.33921	2,520,613	93.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 149 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	12

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月7日現在

項 目	第 149 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,520,613	93.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	0.0
コール・ローン等、その他	186,778	6.9
投資信託財産総額	2,707,405	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月10日)、(2023年11月7日)、(2023年12月7日)、(2024年1月9日)、(2024年2月7日)、(2024年3月7日)現在

項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,657,560,590円</b>	<b>2,664,359,193円</b>	<b>2,595,444,054円</b>	<b>2,617,048,133円</b>	<b>2,712,439,051円</b>	<b>2,831,905,108円</b>
コール・ローン等	32,505,708	65,722,900	41,741,443	46,954,315	36,631,569	62,278,765
投資信託受益証券 (評価額)	2,625,041,894	2,598,623,305	2,553,689,623	2,570,066,408	2,554,394,495	2,520,613,355
ダイワ・マネー・マザー ファンド (評価額)	12,988	12,988	12,988	12,988	12,988	12,988
未収入金	—	—	—	—	121,399,999	249,000,000
その他未収収益	—	—	—	14,422	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>18,302,592</b>	<b>17,872,991</b>	<b>20,760,505</b>	<b>18,605,928</b>	<b>84,598,859</b>	<b>144,296,242</b>
未払金	—	—	—	—	60,700,000	124,500,000
未払収益分配金	15,010,497	14,945,740	14,894,118	14,646,590	14,321,208	14,245,115
未払解約金	1,397	170,643	2,896,903	752,168	6,683,482	2,592,175
未払信託報酬	3,270,687	2,719,960	2,915,005	3,133,524	2,803,374	2,850,718
その他未払費用	20,011	36,648	54,479	73,646	90,795	108,234
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>2,639,257,998</b>	<b>2,646,486,202</b>	<b>2,574,683,549</b>	<b>2,598,442,205</b>	<b>2,627,840,192</b>	<b>2,687,608,866</b>
元本	3,752,624,268	3,736,435,015	3,723,529,621	3,661,647,529	3,580,302,133	3,561,278,947
次期繰越損益金	△ 1,113,366,270	△ 1,089,948,813	△ 1,148,846,072	△ 1,063,205,324	△ 952,461,941	△ 873,670,081
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,752,624,268口</b>	<b>3,736,435,015口</b>	<b>3,723,529,621口</b>	<b>3,661,647,529口</b>	<b>3,580,302,133口</b>	<b>3,561,278,947口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	7,033円	7,083円	6,915円	7,096円	7,340円	7,547円

\* 当作成期首における元本額は3,764,045,984円、当作成期間 (第144期～第149期) 中における追加設定元本額は63,136,230円、同解約元本額は265,903,267円です。

\* 第149期末の計算口数当りの純資産額は7,547円です。

\* 第149期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は873,670,081円です。

■損益の状況

第144期 自 2023年9月8日 至 2023年10月10日    第146期 自 2023年11月8日 至 2023年12月7日    第148期 自 2024年1月10日 至 2024年2月7日  
 第145期 自 2023年10月11日 至 2023年11月7日    第147期 自 2023年12月8日 至 2024年1月9日    第149期 自 2024年2月8日 至 2024年3月7日

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>23,945,073円</b>	<b>22,423,761円</b>	<b>22,516,441円</b>	<b>23,470,610円</b>	<b>20,467,665円</b>	<b>21,727,681円</b>
受取配当金	23,947,125	22,424,114	22,516,963	23,456,889	20,467,984	21,727,836
受取利息	1	—	—	—	1	—
その他収益金	—	—	—	14,324	—	—
支払利息	△ 2,053	△ 353	△ 522	△ 603	△ 320	△ 155
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 88,623,145</b>	<b>13,871,271</b>	<b>△ 67,335,546</b>	<b>60,874,249</b>	<b>83,776,745</b>	<b>68,815,864</b>
売買益	352,244	14,867,827	132,822	61,364,971	84,607,849	68,872,855
売買損	△ 88,975,389	△ 996,556	△ 67,468,368	△ 490,722	△ 831,104	△ 56,991
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 3,290,698</b>	<b>△ 2,736,597</b>	<b>△ 2,932,836</b>	<b>△ 3,152,691</b>	<b>△ 2,820,523</b>	<b>△ 2,868,157</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 67,968,770</b>	<b>33,558,435</b>	<b>△ 47,751,941</b>	<b>81,192,168</b>	<b>101,423,887</b>	<b>87,675,388</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>262,803,399</b>	<b>178,753,617</b>	<b>196,127,043</b>	<b>131,051,163</b>	<b>192,782,207</b>	<b>277,154,060</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 1,293,190,402</b>	<b>△ 1,287,315,125</b>	<b>△ 1,282,327,056</b>	<b>△ 1,260,802,065</b>	<b>△ 1,232,346,827</b>	<b>△ 1,224,254,414</b>
(配当等相当額)	( 278,744,414)	( 277,983,683)	( 277,797,630)	( 273,618,476)	( 268,139,819)	( 268,017,391)
(売買損益相当額)	(△ 1,571,934,816)	(△ 1,565,298,808)	(△ 1,560,124,686)	(△ 1,534,420,541)	(△ 1,500,486,646)	(△ 1,492,271,805)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 1,098,355,773</b>	<b>△ 1,075,003,073</b>	<b>△ 1,133,951,954</b>	<b>△ 1,048,558,734</b>	<b>△ 938,140,733</b>	<b>△ 859,424,966</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 15,010,497</b>	<b>△ 14,945,740</b>	<b>△ 14,894,118</b>	<b>△ 14,646,590</b>	<b>△ 14,321,208</b>	<b>△ 14,245,115</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,113,366,270	△ 1,089,948,813	△ 1,148,846,072	△ 1,063,205,324	△ 952,461,941	△ 873,670,081
追加信託差損益金	△ 1,293,190,402	△ 1,287,315,125	△ 1,282,327,056	△ 1,260,802,065	△ 1,232,346,827	△ 1,224,254,414
(配当等相当額)	( 278,744,414)	( 277,983,683)	( 277,797,630)	( 273,618,476)	( 268,139,819)	( 268,017,391)
(売買損益相当額)	(△ 1,571,934,816)	(△ 1,565,298,808)	(△ 1,560,124,686)	(△ 1,534,420,541)	(△ 1,500,486,646)	(△ 1,492,271,805)
分配準備積立金	268,447,277	272,636,530	275,614,123	278,543,608	279,884,886	350,584,333
繰越損益金	△ 88,623,145	△ 75,270,218	△ 142,133,139	△ 80,946,867	—	—

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,654,375円	20,733,091円	19,583,605円	22,593,216円	19,913,996円	21,039,323円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	2,535,332	66,636,065
(c) 収益調整金	278,744,414	277,983,683	277,797,630	273,618,476	268,139,819	268,017,391
(d) 分配準備積立金	262,803,399	266,849,179	270,924,636	270,596,982	271,756,766	277,154,060
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	562,202,188	565,565,953	568,305,871	566,808,674	562,345,913	632,846,839
(f) 分配金	15,010,497	14,945,740	14,894,118	14,646,590	14,321,208	14,245,115
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	547,191,691	550,620,213	553,411,753	552,162,084	548,024,705	618,601,724
(h) 受益権総口数	3,752,624,268口	3,736,435,015口	3,723,529,621口	3,661,647,529口	3,580,302,133口	3,561,278,947口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
100期末 (2021年10月7日)	2,703	30	△ 5.4	29,593	△ 3.7	—	99.0	149
101期末 (2021年11月8日)	2,770	30	3.6	31,878	7.7	—	99.1	151
102期末 (2021年12月7日)	2,472	30	△ 9.7	31,192	△ 2.2	—	99.1	138
103期末 (2022年1月7日)	2,669	30	9.2	31,925	2.3	—	99.2	145
104期末 (2022年2月7日)	2,608	30	△ 1.2	30,615	△ 4.1	—	99.4	123
105期末 (2022年3月7日)	2,549	30	△ 1.1	29,478	△ 3.7	—	97.5	121
106期末 (2022年4月7日)	2,903	30	15.1	30,541	3.6	—	99.7	125
107期末 (2022年5月9日)	2,816	30	△ 2.0	28,121	△ 7.9	—	98.5	122
108期末 (2022年6月7日)	2,861	30	2.7	28,144	0.1	—	97.5	123
109期末 (2022年7月7日)	2,427	30	△ 14.1	26,282	△ 6.6	—	99.2	104
110期末 (2022年8月8日)	2,622	30	9.3	28,354	7.9	—	99.2	110
111期末 (2022年9月7日)	2,646	30	2.1	26,766	△ 5.6	—	98.5	112
112期末 (2022年10月7日)	2,664	30	1.8	25,674	△ 4.1	—	99.6	113
113期末 (2022年11月7日)	2,860	30	8.5	25,869	0.8	—	97.5	122
114期末 (2022年12月7日)	2,803	30	△ 0.9	27,077	4.7	—	97.0	119
115期末 (2023年1月10日)	2,813	30	1.4	26,769	△ 1.1	—	99.1	121
116期末 (2023年2月7日)	2,924	30	5.0	28,290	5.7	—	99.3	130
117期末 (2023年3月7日)	3,033	30	4.8	27,896	△ 1.4	—	98.5	138
118期末 (2023年4月7日)	2,845	30	△ 5.2	28,320	1.5	—	98.9	126
119期末 (2023年5月8日)	2,923	30	3.8	28,550	0.8	—	99.1	131
120期末 (2023年6月7日)	3,074	30	6.2	29,609	3.7	—	98.5	137
121期末 (2023年7月7日)	3,129	30	2.8	30,518	3.1	—	98.9	142
122期末 (2023年8月7日)	3,226	30	4.1	30,997	1.6	—	97.6	144
123期末 (2023年9月7日)	3,293	30	3.0	30,948	△ 0.2	—	99.3	148
124期末 (2023年10月10日)	3,106	30	△ 4.8	30,078	△ 2.8	—	99.4	143
125期末 (2023年11月7日)	3,234	30	5.1	30,303	0.7	—	97.6	149
126期末 (2023年12月7日)	3,156	30	△ 1.5	31,620	4.3	—	99.1	147
127期末 (2024年1月9日)	3,265	30	4.4	33,137	4.8	—	97.5	152
128期末 (2024年2月7日)	3,339	30	3.2	34,483	4.1	—	98.5	150
129期末 (2024年3月7日)	3,421	30	3.4	35,571	3.2	—	99.4	154

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

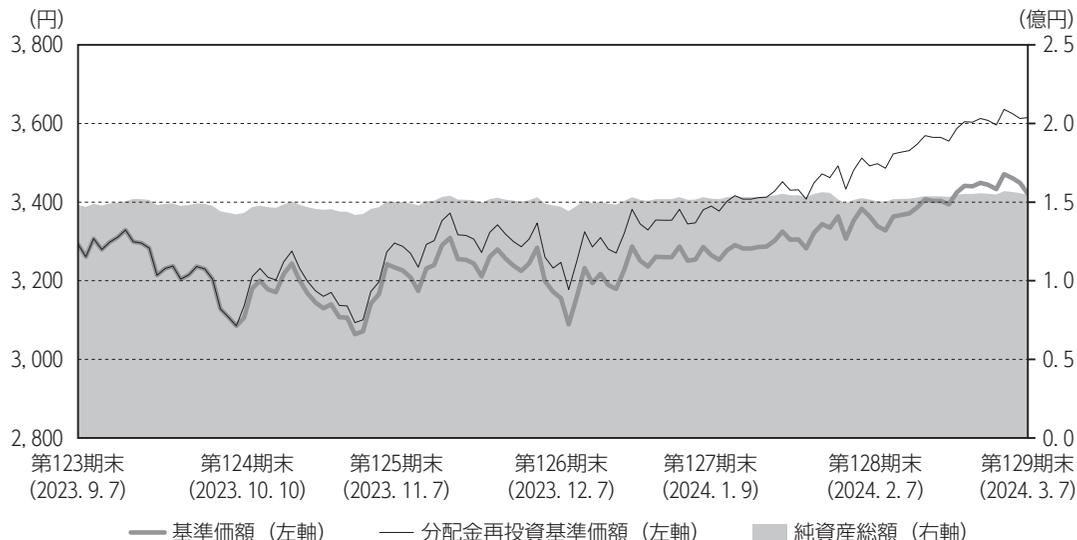
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第124期首：3,293円

第129期末：3,421円（既払分配金180円）

騰落率：9.8%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」については、米国株式市況の上昇や選定通貨が対円でおおむね上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラスト  
トククッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	%		
第124期	(期首) 2023年 9月 7日	3,293	—	30,948	—	—	99.3
	9月末	3,236	△ 1.7	29,819	△ 3.6	—	98.5
	(期末) 2023年10月10日	3,136	△ 4.8	30,078	△ 2.8	—	99.4
第125期	(期首) 2023年10月10日	3,106	—	30,078	—	—	99.4
	10月末	3,071	△ 1.1	28,917	△ 3.9	—	98.9
	(期末) 2023年11月 7日	3,264	5.1	30,303	0.7	—	97.6
第126期	(期首) 2023年11月 7日	3,234	—	30,303	—	—	97.6
	11月末	3,225	△ 0.3	31,618	4.3	—	98.2
	(期末) 2023年12月 7日	3,186	△ 1.5	31,620	4.3	—	99.1
第127期	(期首) 2023年12月 7日	3,156	—	31,620	—	—	99.1
	12月末	3,251	3.0	33,268	5.2	—	99.2
	(期末) 2024年 1月 9日	3,295	4.4	33,137	4.8	—	97.5
第128期	(期首) 2024年 1月 9日	3,265	—	33,137	—	—	97.5
	1月末	3,364	3.0	34,275	3.4	—	97.5
	(期末) 2024年 2月 7日	3,369	3.2	34,483	4.1	—	98.5
第129期	(期首) 2024年 2月 7日	3,339	—	34,483	—	—	98.5
	2月末	3,444	3.1	35,317	2.4	—	98.6
	(期末) 2024年 3月 7日	3,451	3.4	35,571	3.2	—	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 9. 8 ～ 2024. 3. 7）

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

選定通貨（※）の対円為替相場は、おおむね上昇しました。

米国の金融引き締め観測の後退などを受けリスク選好姿勢が強まったことが新興国通貨への上昇圧力となり、メキシコ・ペソ、ブラジル・リアル、コロンビア・ペソ、ハンガリー・フォリント、インド・ルピー、ポーランド・ズロチ、南アフリカ・ランドは対円で上昇しました。一方で、トルコ・リラ、チェコ・コルナは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

### ■ 短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を5. 25～5. 50%に据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

## ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

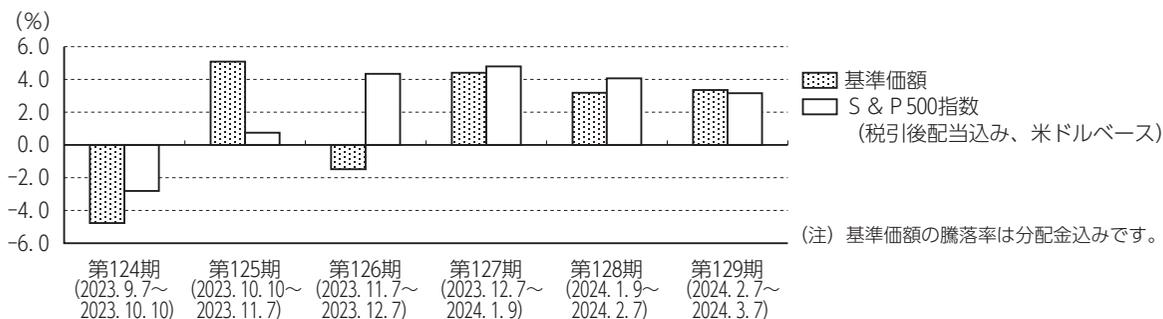
## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.96	0.92	0.94	0.91	0.89	0.87
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	707	728	749	778	813	846

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 41.33円	✓ 50.58円	✓ 50.96円	✓ 58.72円	✓ 65.25円	✓ 63.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	435.51	437.42	439.21	440.07	441.60	443.62
(d) 分配準備積立金	260.92	270.40	289.24	309.37	336.60	370.03
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	737.76	758.40	779.42	808.18	843.46	876.68
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	707.76	728.40	749.42	778.18	813.46	846.68

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E 世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とまらない場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第124期～第129期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0. 668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3, 265円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0. 437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0. 671	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

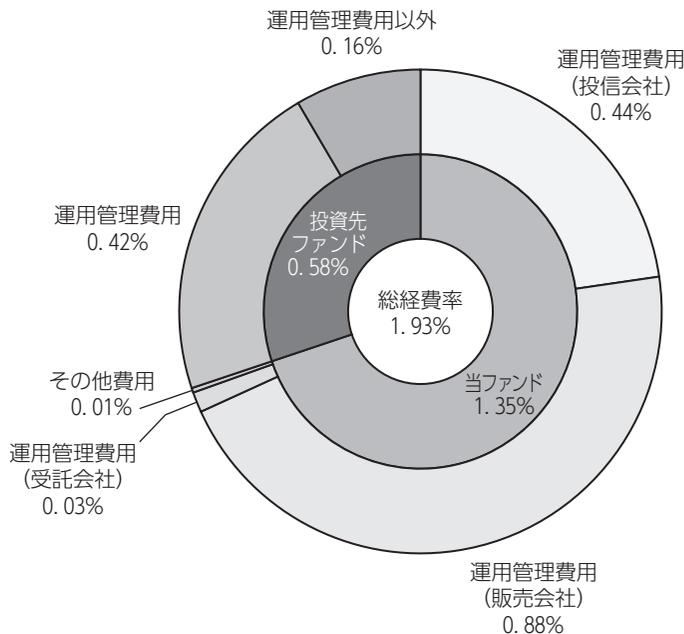
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.93%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.42%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2023年9月8日から2024年3月7日まで)

決 算 期		第 124 期 ~ 第 129 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	677.83501	21,340	447.53714	14,100

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 129 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	4,726.38826	153,494	99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 129 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月7日現在

項 目	第 129 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	153,494	98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	2,766	1.8
投資信託財産総額	156,270	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月10日)、(2023年11月7日)、(2023年12月7日)、(2024年1月9日)、(2024年2月7日)、(2024年3月7日)現在

項目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
<b>(A) 資産</b>	<b>144,711,423円</b>	<b>154,946,601円</b>	<b>148,678,932円</b>	<b>153,767,366円</b>	<b>152,154,785円</b>	<b>156,270,912円</b>
コール・ローン等	2,419,008	1,782,242	2,923,387	5,406,242	3,899,568	2,766,921
投資信託受益証券 (評価額)	142,282,609	146,354,553	145,745,739	148,345,756	148,245,411	153,494,185
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	9,806	9,806	9,806	9,806	9,806	9,806
未収入金	—	6,800,000	—	—	—	—
その他未収収益	—	—	—	5,562	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>1,564,767</b>	<b>4,947,122</b>	<b>1,599,650</b>	<b>1,584,933</b>	<b>1,662,232</b>	<b>1,789,586</b>
未払金	—	3,400,000	—	—	—	—
未払収益分配金	1,382,521	1,391,285	1,398,296	1,398,133	1,352,324	1,354,651
未払解約金	1,545	3,226	31,861	—	141,036	264,643
未払信託報酬	179,615	150,613	166,487	182,690	163,774	164,205
その他未払費用	1,086	1,998	3,006	4,110	5,098	6,087
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>143,146,656</b>	<b>149,999,479</b>	<b>147,079,282</b>	<b>152,182,433</b>	<b>150,492,553</b>	<b>154,481,326</b>
元本	460,840,461	463,761,924	466,098,877	466,044,535	450,774,704	451,550,639
次期繰越損益金	△ 317,693,805	△ 313,762,445	△ 319,019,595	△ 313,862,102	△ 300,282,151	△ 297,069,313
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>460,840,461口</b>	<b>463,761,924口</b>	<b>466,098,877口</b>	<b>466,044,535口</b>	<b>450,774,704口</b>	<b>451,550,639口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	3,106円	3,234円	3,156円	3,265円	3,339円	3,421円

\* 当作成期首における元本額は449,716,868円、当作成期間 (第124期～第129期) 中における追加設定元本額は22,765,671円、同解約元本額は20,931,900円です。

\* 第129期末の計算口数当りの純資産額は3,421円です。

\* 第129期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は297,069,313円です。

■損益の状況

第124期 自 2023年9月8日 至 2023年10月10日    第126期 自 2023年11月8日 至 2023年12月7日    第128期 自 2024年1月10日 至 2024年2月7日  
 第125期 自 2023年10月11日 至 2023年11月7日    第127期 自 2023年12月8日 至 2024年1月9日    第129期 自 2024年2月8日 至 2024年3月7日

項目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>2,085,547円</b>	<b>2,394,436円</b>	<b>2,542,938円</b>	<b>2,814,201円</b>	<b>3,045,706円</b>	<b>2,938,651円</b>
受取配当金	2,085,603	2,394,438	2,542,954	2,808,657	3,045,709	2,938,651
その他収益金	—	—	—	5,550	—	—
支払利息	△ 56	△ 2	△ 16	△ 6	△ 3	—
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 9,177,734</b>	<b>5,076,260</b>	<b>△ 4,650,657</b>	<b>3,885,164</b>	<b>1,764,333</b>	<b>2,297,078</b>
売買益	1,737	5,077,419	1,048	3,885,116	1,745,824	2,301,394
売買損	△ 9,179,471	△ 1,159	△ 4,651,705	48	18,509	△ 4,316
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 180,701</b>	<b>△ 151,525</b>	<b>△ 167,495</b>	<b>△ 183,794</b>	<b>△ 164,762</b>	<b>△ 165,194</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 7,272,888</b>	<b>7,319,171</b>	<b>△ 2,275,214</b>	<b>6,515,571</b>	<b>4,645,277</b>	<b>5,070,535</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 27,234,657</b>	<b>△ 35,871,655</b>	<b>△ 29,914,519</b>	<b>△ 33,493,772</b>	<b>△ 27,325,108</b>	<b>△ 23,955,627</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 281,803,739</b>	<b>△ 283,818,676</b>	<b>△ 285,431,566</b>	<b>△ 285,485,768</b>	<b>△ 276,249,996</b>	<b>△ 276,829,570</b>
(配当等相当額)	( 20,070,084)	( 20,285,898)	( 20,471,894)	( 20,509,671)	( 19,906,630)	( 20,031,922)
(売買損益相当額)	(△ 301,873,823)	(△ 304,104,574)	(△ 305,903,460)	(△ 305,995,439)	(△ 296,156,626)	(△ 296,861,492)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 316,311,284</b>	<b>△ 312,371,160</b>	<b>△ 317,621,299</b>	<b>△ 312,463,969</b>	<b>△ 298,929,827</b>	<b>△ 295,714,662</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 1,382,521</b>	<b>△ 1,391,285</b>	<b>△ 1,398,296</b>	<b>△ 1,398,133</b>	<b>△ 1,352,324</b>	<b>△ 1,354,651</b>
<b>次期繰越損益金 (G + H)</b>	<b>△ 317,693,805</b>	<b>△ 313,762,445</b>	<b>△ 319,019,595</b>	<b>△ 313,862,102</b>	<b>△ 300,282,151</b>	<b>△ 297,069,313</b>
追加信託差損益金	△ 281,803,739	△ 283,818,676	△ 285,431,566	△ 285,485,768	△ 276,249,996	△ 276,829,570
(配当等相当額)	( 20,070,084)	( 20,285,898)	( 20,471,894)	( 20,509,671)	( 19,906,630)	( 20,031,922)
(売買損益相当額)	(△ 301,873,823)	(△ 304,104,574)	(△ 305,903,460)	(△ 305,995,439)	(△ 296,156,626)	(△ 296,861,492)
分配準備積立金	12,546,678	13,494,830	14,458,792	15,757,072	16,762,394	18,200,295
繰越損益金	△ 48,436,744	△ 43,438,599	△ 48,046,821	△ 44,133,406	△ 40,794,549	△ 38,440,038

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,904,846円	2,345,872円	2,375,443円	2,736,989円	2,941,379円	2,845,928円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	20,070,084	20,285,898	20,471,894	20,509,671	19,906,630	20,031,922
(d) 分配準備積立金	12,024,353	12,540,243	13,481,645	14,418,216	15,173,339	16,709,018
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	33,999,283	35,172,013	36,328,982	37,664,876	38,021,348	39,586,868
(f) 分配金	1,382,521	1,391,285	1,398,296	1,398,133	1,352,324	1,354,651
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	32,616,762	33,780,728	34,930,686	36,266,743	36,669,024	38,232,217
(h) 受益権総口数	460,840,461口	463,761,924口	466,098,877口	466,044,535口	450,774,704口	451,550,639口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

クロッキーUSストラテジー・ファンド  
 (日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／  
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス)

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

(日本円建て)

貸借対照表  
 2023年2月28日

<b>資産</b>	
投資資産の評価額（簿価 ¥17,662,146,027）	¥ 17,653,211,892
現金および現金同等物	102,506,567
外国為替スワップ取引による評価益	1,308,463
<b>資産合計</b>	<b>17,757,026,922</b>
<b>負債</b>	
外国為替スワップ取引による評価損	366,624,603
未払：	
担保不足額	48,029,408
専門家報酬	37,694,665
運用会社報酬	2,318,437
管理会社報酬	241,971
受託会社報酬	109,148
名義書換代理人報酬	52,883
為替投資アドバイザー報酬	45,700
登録料	7,726
<b>負債合計</b>	<b>455,124,541</b>
<b>純資産</b>	<b>¥ 17,301,902,381</b>
豪ドル・クラス	¥ 798,523,279
ブラジル・リアル・クラス	13,612,824,848
日本円・クラス	289,430,213
通貨セレクト・クラス	126,520,384
米ドル・クラス	2,474,603,657
	<b>¥ 17,301,902,381</b>
<b>発行済み受益証券</b>	
豪ドル・クラス	10,479,928

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－

ブラジル・リアル・クラス	429,253,180
日本円・クラス	3,982,773
通貨セレクト・クラス	4,424,879
米ドル・クラス	18,027,993

**受益証券1口当り純資産額**

豪ドル・クラス	¥	76,195
ブラジル・リアル・クラス	¥	31,713
日本円・クラス	¥	72,671
通貨セレクト・クラス	¥	28,593
米ドル・クラス	¥	137,265

(日本円建て)

**損益計算書**

2023年2月28日に終了した年度

**投資収益**

受取利息	¥	2,369,370
その他の収益		459
<b>投資収益合計</b>		<u>2,369,829</u>

**費用**

担保不足費用	123,244,701
運用会社報酬	31,965,390
管理会社報酬	12,764,275
専門家報酬	8,079,425
受託会社報酬	1,976,531
名義書換代理人報酬	1,856,011
為替投資アドバイザー報酬	176,616
その他費用	179,023
<b>費用合計</b>	<u>180,241,972</u>

<b>投資純損失</b>	<u>(177,872,143)</u>
--------------	----------------------

**実現損益および評価損益：**

**実現損益：**

ストラクチャード商品への投資	3,833,165,362
外国為替スワップ取引	1,009,990,509
外国為替取引および外国為替先渡取引	61,842,327
<b>純実現損益</b>	<u>4,904,998,198</u>

**評価損益の純変動：**

ストラクチャード商品への投資	(234,652,423)
外国為替スワップ取引	(352,497,096)
外国為替換算	(4,568,162)
<b>評価損益の純変動</b>	<u>(591,717,681)</u>

<b>純実現損益および評価損益の純変動</b>	<u>4,313,280,517</u>
-------------------------	----------------------

<b>運用による純資産の純増</b>	¥ <u>4,135,408,374</u>
--------------------	------------------------

(日本円建て)

投資明細表  
2023年2月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に 占める割合	評価額
Share Basket Swap Transaction* - トータル・リターン・スワップ	1,085,321	102.03%	¥ 17,653,211,892
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥17,662,146,027)			17,653,211,892
投資資産計 (簿価 ¥17,662,146,027)		102.03%	¥ 17,653,211,892

\*当ファンドは J.P. Morgan Securities plc. との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通じて Share Basket Swap Transaction と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
AUD	J.P. Morgan Securities plc	9,718,340	3/7/2023	USD	(6,553,562)	¥ (39,754,976)	(0.23)%

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
BRL	J.P. Morgan Securities plc	556,784,438	3/7/2023	USD	(106,649,381)	¥ (308,758,496)	(1.78)%

日本円・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
JPY	J.P. Morgan Securities plc	327,478,149	3/7/2023	USD	(2,404,127)	¥ (16,171,027)	(0.09)%

通貨セレクト・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
BRL	J.P. Morgan Securities plc	741,701	3/7/2023	USD	(142,069)	¥ (66,515)	(0.00)%
CLP	J.P. Morgan Securities plc	117,441,304	3/7/2023	USD	(141,097)	(693,441)	(0.00)%
COP	J.P. Morgan Securities plc	21,963,273	3/7/2023	USD	(4,536)	(699,656)	(0.00)%
HUF	J.P. Morgan Securities plc	61,878,906	3/7/2023	USD	(173,208)	404,066	0.00%
MXN	J.P. Morgan Securities plc	2,746,074	3/7/2023	USD	(149,854)	598,706	0.00%
PLN	J.P. Morgan Securities plc	634,693	3/7/2023	USD	(143,042)	(480,492)	(0.00)%
TRY	J.P. Morgan Securities plc	4,225,273	3/7/2023	USD	(223,808)	305,691	0.00%
合計						¥ (631,641)	(0.00)%

外国為替スワップ取引に係る評価益

¥ 1,308,463

外国為替スワップ取引に係る評価損

(366,624,603)

合計

¥ (365,316,140)

## ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-

### 用語集:

AUD	豪ドル
BRL	ブラジル・レアル
CLP	チリ・ペソ
COP	コロンビア・ペソ
HUF	ハンガリー・フォリント
JPY	日本・円
MXN	メキシコ・ペソ
PLN	ポーランド・ズロチ
TRY	トルコ・リラ
USD	米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2024年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2023年9月8日～2024年3月7日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2024年3月7日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第19期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

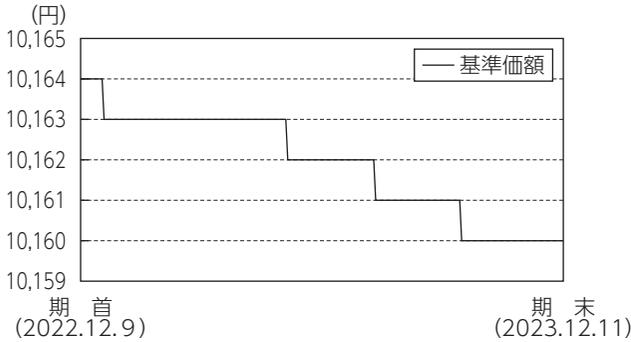
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
12月末	10,164	-	-
2023年1月末	10,163	△0.0	-
2月末	10,163	△0.0	-
3月末	10,163	△0.0	-
4月末	10,163	△0.0	-
5月末	10,162	△0.0	-
6月末	10,162	△0.0	-
7月末	10,161	△0.0	-
8月末	10,161	△0.0	-
9月末	10,160	△0.0	-
10月末	10,160	△0.0	-
11月末	10,160	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,160	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,164円 期末：10,160円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	19,535,266	100.0
投資信託財産総額	19,535,266	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	19,535,266,323円
コール・ローン等	19,535,266,323
(B) 負債	29,184,000
未払解約金	29,184,000
(C) 純資産総額(A - B)	19,506,082,323
元本	19,198,713,135
次期繰越増益金	307,369,188
(D) 受益権総口数	19,198,713,135口
1万口当り基準価額(C / D)	10,160円

\* 期首における元本額は14,576,480,402円、当作成期間中における追加設定元本額は27,183,021,765円、同解約元本額は22,560,789,032円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	6,471,708,187円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
世界水資源関連株ファンド	984円
ダイワ / "R I C I"® コモディティ・ファンド	2,074,249円
堅実バランスファンド - ハジメの一歩-	82,551,045円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	3,668,122,787円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	3,404,533,061円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	1,690,708,296円
D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,873,348,807円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	132,757円
リターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	52,987円
リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	467,315円
リターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	12,784円
リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	9,652円
リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,160円です。

## ■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,497,360円
受取利息	7,522
支払利息	△ 6,504,882
(B) 当期損益金(A)	△ 6,497,360
(C) 前期繰越損益金	238,705,846
(D) 解約差損益金	△ 365,355,257
(E) 追加信託差損益金	440,515,959
(F) 合計(B + C + D + E)	307,369,188
次期繰越損益金(F)	307,369,188

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。